

「釧路湿原自然再生協議会」

# 第 20 回 旧 川 復 元 小 委 員 会

資 料

平成 2 8 年 1 2 月 1 4 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

# 釧路湿原自然再生協議会

## － 第 20 回旧川復元小委員会 －

日時：平成 28 年 12 月 14 日（水） 13：30～15：30

場所：釧路地方合同庁舎 5 階 共用第 1 会議室

### ----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会
2. 議 事
  - 1) 平成 28 年度茅沼地区モニタリング調査結果について
  - 2) スマオロ地区旧川復元実施計画（案）について
3. 閉 会

### ----- 配 布 資 料 -----

- ・ 第 20 回旧川復元小委員会 資料 ----- (資料 1)
- ・ 第 20 回旧川復元小委員会 出席者名簿 ----- (資料 2)
- ・ 第 20 回旧川復元小委員会 座席表 ----- (資料 3)
- ・ 第 20 回旧川復元小委員会 説明資料 ----- (資料 4-①)  
----- (資料 4-②)
- ・ スマオロ地区旧川復元実施計画（案） ----- (資料 5)
- ・ 第 19 回旧川復元小委員会ニュースレター ----- (資料 7)

釧路湿原自然再生協議会  
旧川復元小委員会 委員名簿

計：48名

■個人(21名)

(敬称略、五十音順)

No	氏名	所属
1	石岡 透	
2	伊藤 毅	上智大学 国際教養学科 准教授
3	亀山 哲	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態系機能評価研究室 主任研究員
4	神田 房行	北方環境研究所所長 (元北海道教育大学副学長)
5	櫻井 一隆	
6	清水 康行	北海道大学大学院 工学研究院 環境フィールド工学部門 水工・水文学研究室 教授
7	新庄 興	
8	新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター技術委員長 (環境ファシリテーター)
9	杉澤 拓男	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路 理事
10	杉山 伸一	環境カウンセラー(市民部門)
11	竹中 康進	
※12	照井 滋晴	特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表
13	中村 太士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
14	野本 和宏	釧路市立博物館
15	早川 博	北見工業大学 工学部社会環境工学科 教授
16	針生 勤	一般財団法人釧路市民文化振興財団 生涯学習推進アドバイザー
17	日野 貴	
18	平間 清	(有) 平間ファーム
19	松本 文雄	
20	矢吹 哲夫	酪農学園大学 農食環境学群・環境共生学類 教授
21	渡辺 剛弘	上智大学 国際教養学科 准教授

■団体(19名)

(敬称略、五十音順)

No	団体/機関名	代表者名
1	釧路川カヌーネットワーク	会長 小川 清史
2	釧路国際ウェットランドセンター	理事長 蝦名 大也
3	釧路市漁業協同組合	代表理事組合長 戸田 晃
4	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
5	釧路湿原国立公園 ボランティアレンジャーの会	代表幹事 山岸 彬
6	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蝦名 大也
7	釧路シャケの会	会長 小杉 和寛
8	釧路水産用水汚濁防止対策協議会	会長 柳谷 法司
9	公益財団法人 日本生態系協会	会長 池谷 奉文
10	公益財団法人 北海道環境財団	理事長 小林 三樹
11	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
12	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷺見 祐将
13	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
14	特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村	事務局長 佐藤 吉人
15	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
16	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 寒地河川チーム	上席研究員 矢部 浩規
17	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 水環境保全チーム	上席研究員 新目 竜一
18	北海道プロフェッショナル フィッシングガイド協会	会長 テディ 齋藤
19	標茶西地区農地・水保全隊	隊長 佐久間 三男

※第8期新規登録 (団体から個人へ変更)

■オブザーバー(3団体)

(敬称略)

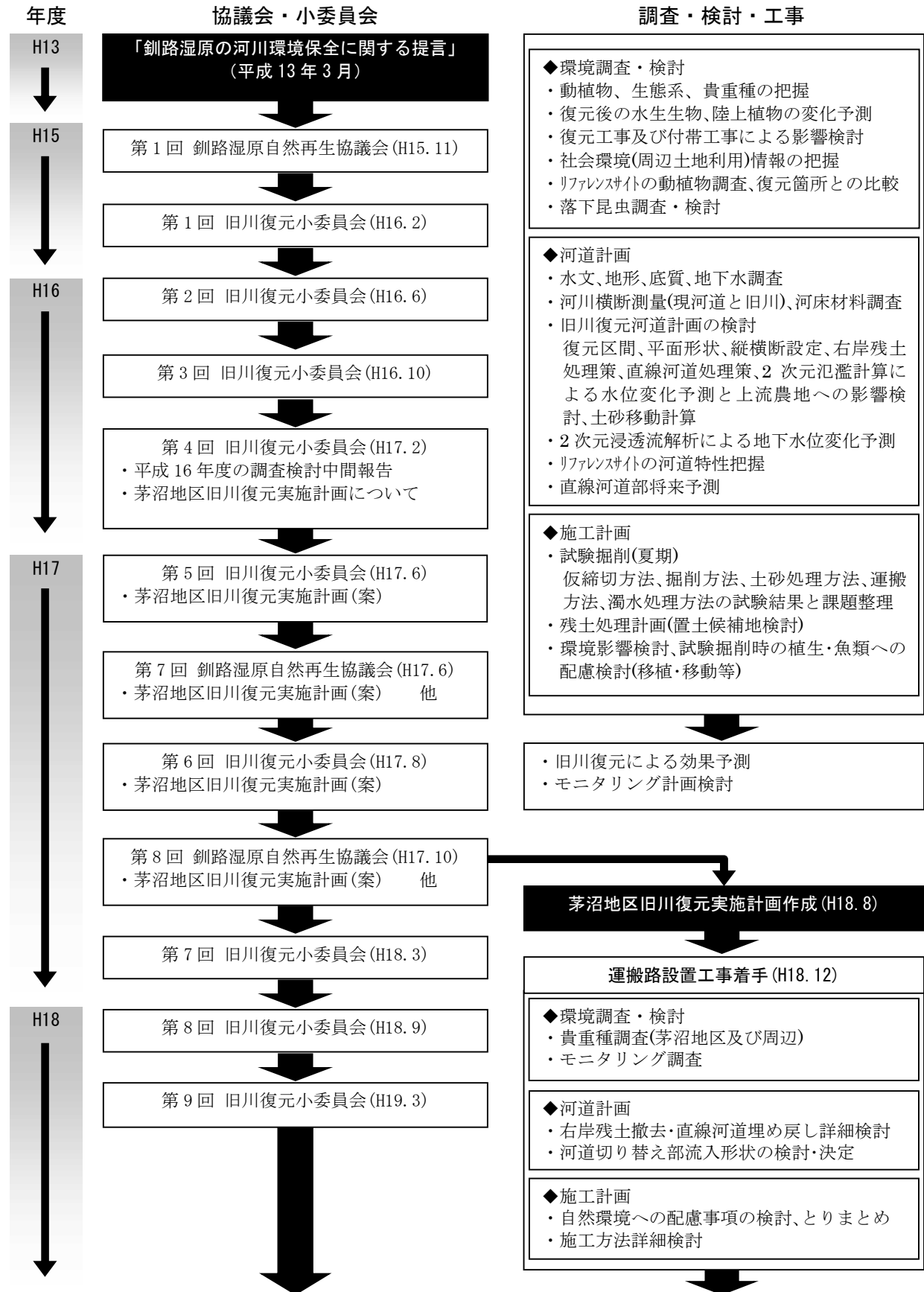
No	団体/機関名	代表者名
1	社団法人 十勝釧路管内 さけます増殖事業協会	会長 亀田 元教
2	標茶町農業協同組合	代表理事組合長 高取 剛
3	釧路丹頂農業協同組合	代表理事組合長 武藤 清隆

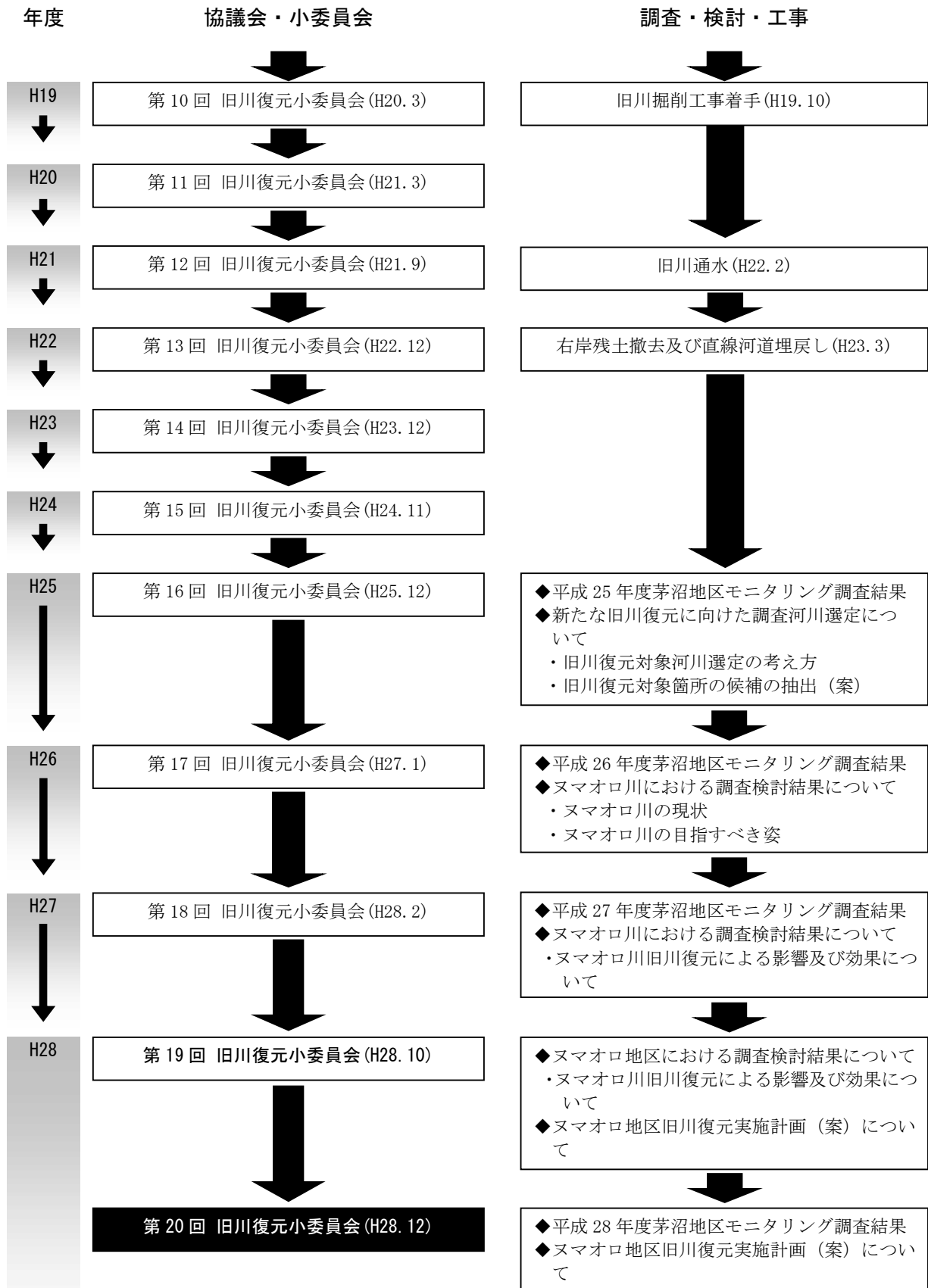
■関係行政機関(5機関)

(敬称略)

No	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 梅沢 信敏
2	環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	所長 安田 直人
3	釧路市	市長 蝦名 大也
4	標茶町	町長 池田 裕二
5	鶴居村	村長 大石 正行

— 旧川復元計画に関するこれまでの経緯と今後の計画 —





◇前回の旧川復元小委員会での課題と今後の対応方針

第 19 回 旧川復元小委員会の課題（発言概要）と今後の対応方針

項目	発言概要	回答および今後の対応方針
ヌマオロ地区における調査検討結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧川復元区間だけではなく、リファレンスサイト（下流自然蛇行区間）の変化も確認した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リファレンスサイトでもモニタリング調査を行い変化を確認していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去に五十石で行った貴重植物移植は、成功していない。本当に移植しなければならないか、その場所を保護できないかも含め、枯らさないように検討する必要がある。</li> <li>エゾハリスゲについては環境省で指定されているものなので、環境省に指導頂いた方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の移植は過去の事例を踏まえると、技術的に難しい面もあるが、引き続き移植等による保全を試みていく。</li> <li>エゾハリスゲに関しては、北海道レッドリストの指定種ではなく、移植が成功しなければ絶滅するものではない。環境省から情報提供を受け、それを踏まえて対応していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚類・底生動物のモニタリング時期について、大雨により確認個体数の分布が変わることがあるので、今の調査時期に加えて大雨が降った後も調査を実施した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模な出水等があった場合には適宜調査を実施することとする。</li> </ul>